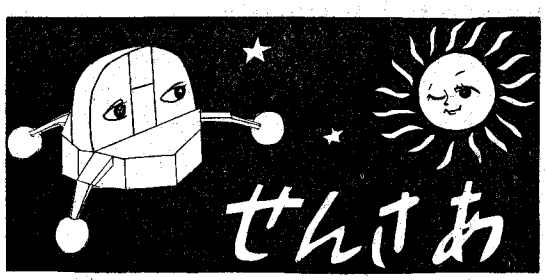


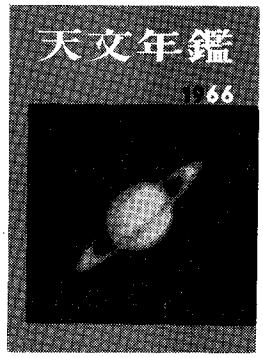
☆ **コクタイのセイカと天文台** 1962 年岡山の国民体育大会の聖火の採火式が岡山天体物理観測所で行なわれて以来，天文台は国体の聖火と縁がきれなくなった．昨年の岐阜国体では乗鞍コロナ観測所が採火式場となり，10 月 21 日に行なわれた．この日はちょうど池谷，関彗星の太陽接近で，観測所のドーム内はてんてこまいのとき，採火式は観測所構内の雪の中で，直径 50 cm の金属反射鏡から太陽光線によって，トーチの先につけた赤綿火薬に点火した．それを平湯峠まではこび，ここでさらに盛大な点火式を行なってからトーチランナーがリレーして会場まで運んだ．

なお明年 9 月の埼玉国体でも，堂平が聖火の候補地として話題にのぼっている．

☆東京天文台の松波直幸氏は昨年 10 月から 1 年間カナダ・トロント市のディヴィッド・ダンラップ天文台に滞在する．東京天文台岡山天体物理観測所の石田五郎氏は昨年 9 月アメリカ海軍天文台に行き，諸天文台を見学した後，現在はリック天文台に滞在，3 月帰国の予定．

東大理学部の下田真弘氏は昨年 9 月から 1 年の予定で NASA に滞在．名古屋大理学部の藤本光昭氏はコロンビア大に滞在．アイオワ大の松島訓氏は松島氏が指導している 2 名の米国人学生とともに昨年 9 月から京大に逗留．2 月から 8 月までは東大にいてその後離日する予定．なお同氏と一緒にアイオワ大で研究していた寺下陽一氏は帰国した．

☆東京天文台分光部では 1 昨年 4 月に岡山天体物理観測所の 188 センチ望遠鏡の分光器便覧をつくり，利用者に重宝されていますが，こんどエシェル分光器の説明や，岡山で実験した乾板の増感法などをつけ加えて改訂版を出す予定です．改訂について何が希望がある人は御連絡下さい．



1966年版

大好評　発売中

定価　220 円

66年度の天体観測計画は，まず本書をご覧になってからお立てください．

1 年を通して，毎日の天文現象が一目でわかる便利な予報をはじめ，各惑星の動き，太陽・月の出没時，木星衛星の動き，太陽活動，彗星・流星の消息，長周期変光星の予報など各種データをくわしくのせると共に，今年度から新しく月面余経度・月面緯度も掲載しました．

誠文堂新光社　東京都千代田区神田錦町 1-5　振替 東京・6294 番

(57 頁よりつづく)

ては日周章動項の振幅，位相共もその probable error の大いさから見て有意に思われるが，なお長年にわたる国際緯度観測の資料からも解析して見ることは興味深い．殊に 1935 年から 1954 年にかけて 20 年間観測プログラムに変更のなかった期間が適しているように思われる．

極運動における自由章動としてまずチャンドラー項は地球の弾性についての情報を与え，最近その存在が観測から確かめられつつある日周章動項は地球のマントルの弾性と流体核の内部構造についてより精確な情報を提供し得るにいたるであろう．それはやがて太陽系における惑星の運動に関する基本常数系を計算するのに用いられる理論の発展に寄与することが期待される．

昭和 41 年 2 月 20 日	編集兼発行人	東京都三鷹市東京天文台内	広瀬秀雄
印刷発行	印刷所	東京都港区西新橋 1 丁目21番 8 号	笠井出版印刷社
定価 70 円(送料 6 円),	発行所	東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
地方売価 75 円		電話武蔵野 45 局 (0422-45) 1959	振替口座東京 13595